

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

1217

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23227報)

2022年 2月 15日 12時 10分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所 (注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻 (注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類 (注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要 (注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日10時40分頃、ブライン配管電動弁追設工事のため陸側遮水壁設備を停止したところブライントankの水位が低下していることを当社社員が発見しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確認時刻 10時40分頃</li> <li>・発生場所 陸側遮水壁ブライントank</li> <li>・設備名称 陸側遮水壁設備</li> <li>・発見者 当社社員</li> <li>・設備の状況 陸側遮水壁ブライントankの水位が低下</li> <li>・応急処置 11時00分頃、ブライントankからブラインを陸側遮水壁へ送り出す弁を閉操作したところ水位低下は停止した。</li> <li>・外部への影響 なし プラントパラメータ、モニタリングポストの指示に異常はない。</li> </ul> <p>現在、水位低下の原因を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

1407

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23228報)

2022年 2月 15日 14時00分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第23227報でお知らせした、陸側遮水壁ブライントクの水位低下事象について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>本日予定していたブライン配管電動弁追設工事の電動弁動作試験を中止します。 また、2系統に分かれている陸側遮水壁設備のうち、ブライントクの水位低下が確認されていない系統については、準備が整い次第起動操作を行います。</p> <p>なお、水位低下の原因については引き続き調査し、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C統】</p>
	※添付の有り・無し
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

15:52

1/13

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第23229報)

2022年 2月 15日 15時35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [2月15日11時00分現在]</li> <li>・サブドレン等 分析結果 [採取日 2月14日]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 2月14日]</li> <li>・構内排水路 分析結果 [採取日 2月14日]</li> <li>・構内排水路 排水路流量と分析結果 [採取日 1月28日~2月3日]</li> <li>・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 2月10日、2月14日]</li> <li>・海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt; [採取日 2月7日、2月14日]</li> <li>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</li> <li>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</li> <li>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</li> </ul> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクEの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、2月16日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サブドレン 地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 2月11日]</li> </ul> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2/13

福島第一原子力発電所 プラント関連バラメータ

2022年2月15日 11:00現在

(留意事項)  
各計測値については、地震やその他の異常事態の発生を受けて、通常の計測精度を確保し、異常の発生を速やかに検出するために、正しく測定されているか、計測装置の異常の有無を確認している。プラントの状態を把握するために、このよう計測装置の不確かさを考慮したうえで、事故の判断に使用されるべき計測値を使用し、変化の傾向にも留意して判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.0 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.4 m <sup>3</sup> /h (2/15 11:00 現在)	給水系: 1.7 m <sup>3</sup> /h CS系: 0.0 m <sup>3</sup> /h (2/15 11:00 現在)	給水系: 1.7 m <sup>3</sup> /h CS系: 0.0 m <sup>3</sup> /h (2/15 11:00 現在)	
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 14.0 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 13.5 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 13.5 °C (2/15 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 21.0 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 23.7 °C (2/15 11:00 現在)	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 21.0 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 18.6 °C (2/15 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 13.6 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 13.6 °C (2/15 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 21.5 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 21.5 °C (2/15 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 21.1 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 18.4 °C (2/15 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.32 kPa g (2/15 11:00 現在)	3.81 kPa g (2/15 11:00 現在)	0.44 kPa g (2/15 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm <sup>3</sup> /h (RVH-B): 15.65 Nm <sup>3</sup> /h (JP-A): 14.36 Nm <sup>3</sup> /h (JP-B): - Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (2/15 11:00 現在) ※4	RPV-A: 6.52 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 6.59 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (2/15 11:00 現在) ※4	RPV-A: 8.43 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 8.80 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (2/15 11:00 現在) ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	21.4 m <sup>3</sup> /h (2/15 11:00 現在)	16.99 Nm <sup>3</sup> /h (2/15 11:00 現在)	17.77 Nm <sup>3</sup> /h (2/15 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (2/15 11:00 現在)	A系: 0.05 vol% B系: 0.05 vol% (2/15 11:00 現在)	A系: 0.09 vol% B系: 0.07 vol% (2/15 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 1.04E-03 Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 3.62E-04 B系: 指示値 1.09E-03 Ba/cm <sup>3</sup> 検出限界値 3.17E-04 (2/15 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm <sup>3</sup> (2/15 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm <sup>3</sup> B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm <sup>3</sup> (2/15 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	18.8 °C (2/15 11:00 現在)	18.1 °C (2/15 11:00 現在)	- °C ※5 (2/15 11:00 現在)	- °C ※5 (2/15 11:00 現在)
FPC 貯槽の 水位	3.74 m (2/15 11:00 現在)	3.98 m (2/15 11:00 現在)	- m ※6 (2/15 11:00 現在)	33.5 X100mm (2/15 11:00 現在)

(注) 括弧内は異常値を示す。  
※1: 格納容器内水素濃度は、格納容器内水素濃度計により測定される。計測精度によりマニナス表示される場合がある。  
※2: 格納容器内放射能濃度は、格納容器内放射能濃度計により測定される。  
※3: 格納容器内窒素封入流量は、窒素封入流量計により測定される。  
※4: 窒素封入停止中  
※5: 全格納容器の出し入れが完了した場合は、格納容器内水素濃度計の測定値を参照する。  
※6: 作業者に付いた測定値

3/13

2022年2月15日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

サブドレン等 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2022/02/14 08:20	< 7.5E+00	< 4.8E+00	1.3E+02
2号機サブドレン	2022/02/14 07:17	< 2.7E+01	2.2E+02	7.4E+03
3号機サブドレン	2022/02/14 07:49	< 4.6E+00	< 3.9E+00	< 4.9E+00
4号機サブドレン	2022/02/14 08:13	< 4.5E+00	< 4.5E+00	< 4.7E+00
5号機サブドレン	—	—	—	—
6号機サブドレン	—	—	—	—
構内深井戸	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：I-131(約8日), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O.OE±Oとは、 $O.O \times 10^{#O}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

4/13

2022年2月15日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2022/02/14 08:13	< 4.5E+00	< 4.5E+00	< 4.7E+00
プロセス主建屋北東	2022/02/14 07:55	< 3.7E+00	< 4.1E+00	< 3.4E+00
プロセス主建屋南東	2022/02/14 08:08	< 5.2E+00	< 4.3E+00	< 4.6E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2022/02/14 07:39	< 5.2E+00	< 5.0E+00	< 5.4E+00
サイトバンカ建屋南西	2022/02/14 07:50	< 4.5E+00	< 3.9E+00	< 5.1E+00
焼却工作建屋西側	2022/02/14 07:45	< 5.5E+00	< 7.4E+00	4.9E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2022/02/14 07:34	< 4.1E+00	< 4.0E+00	< 4.7E+00
サイトバンカ建屋南東	2022/02/14 08:03	< 4.8E+00	< 4.0E+00	< 3.8E+00

- ・核種毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O.OE±Oとは、O.O×10<sup>±O</sup>であることを意味する。
- ・(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。
- ・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

5/13

2022年2月15日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/02/14 07:50	4.6E+00	< 4.6E-01	4.8E+00
物揚場排水路	2022/02/14 07:55	< 3.3E+00	< 5.4E-01	8.1E-01
K排水路	2022/02/14 07:05	7.1E+00	< 4.9E-01	2.6E+00
BC排水路	2022/02/14 06:00	< 3.3E+00	< 4.1E-01	< 5.0E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・0.0E±0とは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。
- (例)  $3.1E+01$ は $3.1 \times 10^1$ で31,  $3.1E+00$ は $3.1 \times 10^0$ で3.1,  $3.1E-01$ は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。
- ・採取当日の降雨量は0 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

6/13

2022年2月15日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 構内排水路 排水路流量と分析結果 (全β・H-3・γ)

採取地点	採取日時	降雨量 (mm/日)	流量 (m <sup>3</sup> /秒)	分析項目			
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2022/01/28 07:25	0.0	0.000	4.0E+00	—	< 5.3E-01	2.0E+00
	2022/01/29 07:10	0.0	0.000	6.5E+00	—	< 5.7E-01	2.9E+00
	2022/01/30 07:40	0.0	0.000	5.5E+00	—	< 4.8E-01	2.1E+00
	2022/01/31 07:46	0.0	0.000	< 3.3E+00	—	< 5.3E-01	2.1E+00
	2022/02/01 07:15	0.0	0.000	< 4.2E+00	—	< 4.5E-01	2.1E+00
	2022/02/02 07:25	0.0	0.000	< 2.9E+00	< 7.9E+00	< 5.9E-01	2.2E+00
	2022/02/03 07:47	0.0	0.000	3.7E+00	—	< 4.4E-01	3.1E+00
物揚場排水路	2022/01/28 07:30	0.0	0.006	< 2.5E+00	—	< 6.0E-01	8.1E-01
	2022/01/29 07:15	0.0	0.007	< 3.4E+00	—	< 5.3E-01	< 7.3E-01
	2022/01/30 07:44	0.0	0.007	< 2.6E+00	—	< 4.8E-01	9.2E-01
	2022/01/31 07:51	0.0	0.007	< 3.3E+00	—	< 5.8E-01	1.0E+00
	2022/02/01 07:20	0.0	0.007	< 4.2E+00	—	< 5.9E-01	< 7.0E-01
	2022/02/02 07:21	0.0	0.007	3.8E+00	< 7.9E+00	< 5.7E-01	9.4E-01
	2022/02/03 07:52	0.0	0.007	< 2.8E+00	—	< 5.4E-01	< 5.7E-01
K排水路	2022/01/28 06:00	0.0	0.009	3.1E+00	—	< 5.6E-01	2.8E+00
	2022/01/29 06:00	0.0	0.009	< 3.4E+00	—	< 4.0E-01	2.3E+00
	2022/01/30 06:00	0.0	0.010	4.6E+00	—	< 5.7E-01	2.9E+00
	2022/01/31 06:00	0.0	0.009	3.7E+00	—	< 6.8E-01	2.7E+00
	2022/02/01 06:00	0.0	0.010	6.4E+00	—	< 3.9E-01	2.7E+00
	2022/02/02 06:00	0.0	0.009	3.3E+00	1.2E+02	< 3.9E-01	2.3E+00
	2022/02/03 06:00	0.0	0.010	4.8E+00	—	< 3.4E-01	2.1E+00
BC排水路	2022/01/28 06:00	0.0	0.020	< 2.5E+00	—	< 6.1E-01	< 6.2E-01
	2022/01/29 06:00	0.0	0.025	< 3.4E+00	—	< 5.4E-01	< 7.0E-01
	2022/01/30 06:00	0.0	0.021	< 2.6E+00	—	< 4.8E-01	< 6.5E-01
	2022/01/31 06:00	0.0	0.023	< 3.3E+00	—	< 7.0E-01	< 6.2E-01
	2022/02/01 06:00	0.0	0.025	< 4.2E+00	—	< 5.5E-01	< 6.0E-01
	2022/02/02 06:00	0.0	0.019	< 2.9E+00	< 7.9E+00	< 4.0E-01	< 5.2E-01
	2022/02/03 06:00	0.0	0.025	< 2.8E+00	—	< 6.2E-01	< 5.8E-01
5,6号機排水路	—	—	—	—	—	—	—

・核種毎の半減期：H-3(約12年)，Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)

・不等号 (&lt;：小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・0.0E±0とは、0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

・流量以外は既にお知らせ済み。

7/13

2022年2月15日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所カンパニー

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目											
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	RU-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)			
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	2022/02/10 08:25	9.7E+01	2.1E+04	< 2.8E-01	< 3.5E-01	< 3.0E+00	< 1.2E+00	< 3.2E-01	3.4E+00	-	-	-	
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-9 <sup>*1</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

\* 検出限界: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)  
 \* 不詳号 (<: 4なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

\* 測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

\* O.OE±Oとは、O.O×10<sup>0</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と表す。

\* H-3以外は図にお知らせ済み。

\* 1 No.1-9は、採水筒による採取であるため、Y測定は実施せず。全βは参考値としての選後に測定。

8/13

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目										地層 (ppm)			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他V線放出核種					
1,2号観測孔のバリエーション 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2	2022/02/10 08:10	2.1E+02	3.4E+02	< 2.3E-01	< 2.4E-01	< 2.0E+00	< 7.5E-01	< 2.4E-01	6.6E-01	-	-	-	-	-	-
No.2-2	2022/02/10 07:52	1.8E+02	3.9E+02	< 1.2E+00	< 1.8E+00	< 1.5E+01	< 7.2E+00	< 2.4E+00	5.4E+01	-	-	-	-	-	-
No.2-3	2022/02/10 07:56	3.8E+04	3.9E+03	< 2.7E-01	< 2.9E-01	< 2.9E+00	< 1.0E+00	< 3.3E-01	2.7E+00	-	-	-	-	-	-
No.2-5 *2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-8	2022/02/10 08:16	4.2E+03	3.6E+02	< 3.8E-01	< 4.4E-01	< 3.5E+00	< 1.3E+00	< 4.5E-01	2.1E+00	-	-	-	-	-	-
2,3号観測孔のバリエーション 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.3	2022/02/10 07:38	2.9E+02	2.9E+03	< 2.3E-01	< 3.1E-01	< 2.7E+00	< 1.0E+00	< 3.0E-01	4.8E+00	-	-	-	-	-	-
No.3-2	2022/02/10 08:00	5.4E+02	6.7E+02	< 1.2E+00	< 1.8E+00	< 1.2E+01	< 3.7E+00	< 1.4E+00	4.5E+00	-	-	-	-	-	-
No.3-3	2022/02/10 08:04	2.2E+03	2.6E+03	< 3.2E+00	< 6.0E+00	< 4.9E+01	< 1.7E+01	4.7E+00	1.4E+02	-	-	-	-	-	-
No.3-4	2022/02/10 07:42	< 1.1E+01	5.9E+02	< 7.8E-01	< 1.1E+00	< 7.5E+00	< 2.6E+00	< 5.6E-01	4.2E+00	-	-	-	-	-	-
No.3-5 *2	2022/02/10 07:46	3.9E+01	< 1.2E+02	-	-	-	-	-	2.5E+02	-	-	-	-	-	-
3,4号観測孔のバリエーション 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\* 検体毎の半減期: H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

\* 不審号 (<: 小字) は、検出限界未満 (ND) を意味する。

\* 測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

\* O.E±Oとは、O.O×10<sup>±</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

\* H-3以外は瓶にお知らせ済み。

\*2 No.2-5, No.3-5は、採水器による採取であるため、V測定は実施せず。全βは参考値としてる過後に測定。

9/13

2022年2月15日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目									
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)		
No.0-1	2022/02/14 07:48	9.2E+01	< 9.1E-01	< 1.3E+00	< 1.2E+01	< 4.0E+00	< 1.2E+00	1.8E+01	-	-	
No.0-1-2	2022/02/14 07:51	2.3E+01	< 2.6E-01	< 2.7E-01	< 2.3E+00	< 9.7E-01	< 2.7E-01	6.2E+00	-	-	
No.0-2	2022/02/14 08:05	< 1.3E+01	< 3.4E-01	< 3.6E-01	< 2.7E+00	< 1.0E+00	< 3.7E-01	9.8E-01	-	-	
No.0-3-1	2022/02/14 07:55	< 1.3E+01	< 3.7E-01	< 4.5E-01	< 3.4E+00	< 1.3E+00	< 3.7E-01	1.2E+00	-	-	
No.0-3-2	2022/02/14 07:58	4.1E+01	< 3.6E-01	< 4.0E-01	< 3.3E+00	< 1.3E+00	< 3.7E-01	1.8E+00	-	-	
No.0-4	2022/02/14 08:08	< 1.3E+01	< 3.3E-01	< 3.0E-01	< 2.4E+00	< 1.2E+00	< 3.0E-01	2.4E+00	-	-	
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-9 #1	2022/02/14 07:45	2.1E+01	-	-	-	-	-	-	7.8E+01	-	
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

・検出値の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約33年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)  
 ・不検出 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。  
 ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。  
 ・C.O.E±0とは、 $0.0 \times 10^{\pm 0}$ であることを意味する。  
 (例)  $3.1E+01$ は $3.1 \times 10^1$ で31、 $3.1E+00$ は $3.1 \times 10^0$ で3.1、 $3.1E-01$ は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読み取る。  
 ※1 No.1-9は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてγ測定後に測定。

10/13

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
1,2号機ワエルポイント 汲み上げ水									
No.2	2022/02/14 07:37	2.0E+02	< 2.0E-01	< 2.8E-01	< 2.0E+00	< 8.4E-01	< 2.7E-01	5.9E-01	
No.2-2	2022/02/14 07:23	1.9E+02	< 1.1E+00	< 1.7E+00	< 1.0E+01	< 5.5E+00	< 1.5E+00	4.9E+01	
No.2-3	2022/02/14 07:20	2.6E+04	< 3.9E-01	< 3.5E-01	< 4.3E+00	< 1.5E+00	< 4.4E-01	4.2E+00	
No.2-5 ※2	2022/02/14 07:18	1.5E+05							
No.2-6									
No.2-7	2022/02/14 07:33	3.9E+02	< 3.0E-01	< 3.3E-01	< 2.5E+00	< 9.6E-01	< 2.7E-01	1.1E+00	5.1E+02
No.2-8	2022/02/14 07:40	3.9E+03	< 2.4E-01	< 2.1E-01	< 2.3E+00	< 9.2E-01	< 2.5E-01	2.7E+00	
2,3号機改修ワエル 汲み上げ水									
No.3									
No.3-2									
No.3-3									
No.3-4									
No.3-5 ※2									
3,4号機改修ワエル 汲み上げ水									

・ 検測箇の平成期: Mn-54(初310日), Co-60(初5年), Ru-106(初370日), Sb-125(初3年), Cs-134(初2年), Cs-137(初30年)  
 ・ 不符号 (< ; 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。  
 ・ 測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。  
 ・ O.OE±Oとは、O.O×10<sup>±O</sup>であることを意味する。  
 (例) 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で3.1, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。  
 ※2 No.2-5, No.3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず、全βは参考値としての過後に測定。

2022年2月15日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 海水分析結果&lt;港湾内, 放水口付近&gt; (全β・H-3・γ)

試料名称	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/02/07 08:37	9.9E+00	< 9.5E-01	< 8.4E-01	< 6.6E-01
1F 6号機取水口前	2022/02/07 08:05	< 1.2E+01	< 2.3E+00	< 5.3E-01	< 4.6E-01
1F 物揚場前	2022/02/07 07:40	< 1.2E+01	< 1.9E+00	< 4.3E-01	< 4.2E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/02/07 07:15	< 1.2E+01	7.0E+00	< 4.3E-01	8.2E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/02/07 07:25	< 1.2E+01	3.8E+01	< 5.6E-01	1.7E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/02/07 09:10	1.2E+01	< 9.5E-01	< 6.9E-01	< 6.1E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/02/07 06:43	< 1.4E+01	< 1.9E+00	< 5.2E-01	< 5.0E-01
1F 港湾中央	2022/02/07 06:50	< 1.4E+01	< 1.9E+00	< 4.7E-01	< 5.5E-01
1F 港湾内東側	2022/02/07 06:48	1.8E+01	< 1.7E+00	< 2.2E-01	< 3.1E-01
1F 港湾内西側	2022/02/07 06:52	< 1.2E+01	< 1.7E+00	< 2.9E-01	4.0E-01
1F 港湾内北側	2022/02/07 06:54	< 1.2E+01	< 1.7E+00	< 2.5E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内南側	2022/02/07 06:46	1.5E+01	< 1.7E+00	< 2.7E-01	< 3.0E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/02/07 06:30	1.3E+01	< 9.4E-01	< 6.5E-01	< 4.8E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/02/07 06:32	1.2E+01	< 9.4E-01	< 8.3E-01	< 6.2E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/02/07 06:35	< 1.0E+01	< 9.4E-01	< 4.9E-01	< 5.5E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/02/07 06:37	< 1.0E+01	< 9.4E-01	< 7.0E-01	< 7.2E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/02/07 06:39	1.2E+01	< 9.4E-01	< 6.7E-01	< 6.4E-01
告示濃度限度※1			6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01

- ・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・0.0E±0とは、0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。
- ・物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日は閉鎖実施後にもサンプリングを実施。
- ・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

12/13

2022年2月15日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 海水分析結果&lt;港湾内, 放水口付近&gt; (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2022/02/14 08:20	8.5E+00	< 6.7E-01	< 6.6E-01
1F 6号機取水口前	2022/02/14 08:06	1.5E+01	< 5.0E-01	< 4.1E-01
1F 物揚場前	2022/02/14 07:44	1.3E+01	< 5.0E-01	< 6.7E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2022/02/14 07:35	1.4E+01	< 4.0E-01	5.7E-01
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2022/02/14 07:45	< 1.2E+01	< 5.5E-01	1.7E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2022/02/14 08:35	8.0E+00	< 5.2E-01	< 5.3E-01
1F 港湾口 (T-0)	2022/02/14 06:53	2.0E+01	< 3.8E-01	< 4.9E-01
1F 港湾中央	2022/02/14 07:00	< 1.3E+01	< 5.3E-01	< 6.1E-01
1F 港湾内東側	2022/02/14 06:58	< 1.4E+01	< 3.4E-01	< 3.6E-01
1F 港湾内西側	2022/02/14 07:02	< 1.4E+01	< 3.0E-01	< 3.9E-01
1F 港湾内北側	2022/02/14 07:04	< 1.4E+01	< 3.0E-01	< 3.4E-01
1F 港湾内南側	2022/02/14 06:56	< 1.4E+01	< 3.0E-01	< 3.1E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2022/02/14 06:40	1.5E+01	< 8.5E-01	< 4.7E-01
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2022/02/14 06:42	< 1.3E+01	< 5.5E-01	< 6.2E-01
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2022/02/14 06:45	< 1.3E+01	< 5.6E-01	< 6.5E-01
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	2022/02/14 06:47	< 1.3E+01	< 7.1E-01	< 7.0E-01
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	2022/02/14 06:49	1.4E+01	< 7.4E-01	< 7.9E-01
告示濃度限度 <sup>*1</sup>			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

\*核種毎の半減期: Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

\*不等号 (&lt;: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND) を表す。

\*測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

\*0.0E±0とは, 0.0×10<sup>+0</sup>であることを意味する。(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

\*物揚場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

\*1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める

告示濃度限度

(別表第一第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では, Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

\*試料採取作業の安全確保ができないため, 採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

2022年2月15日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m <sup>3</sup> )	分析機関	分析項目					その他 Y核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)		
一時貯水タンク (サンブルタンク)	E 2022/02/11 08:43	840	東京電力 東北緑化環境保全(株)	< 1.9E+00	8.9E+02	< 7.6E-01	< 6.7E-01		検出なし
				< 3.4E-01	9.4E+02	< 7.6E-01	< 4.9E-01		検出なし
	運用目録			3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00		検出されないこと※2
	告示濃度限度※3				6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01		
	WHO飲料水水質ガイドライン				1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01		

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

※1 運用目録の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134,Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度 (別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

13/13

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

16:56

様式9-1(1/3)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23230報)

2022年 2月15日 16時45分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第23227報でお知らせした、陸側遮水壁ブライントングの水位低下事象について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>現場調査の結果、2・3号間山側道路の横断部の下部において、陸側遮水壁設備の配管よりブラインが漏えいしていることを16時00分に確認しました。漏えいは継続しており、今後止水方法を検討します。 なお、ブラインは汚染しておらず、環境影響もありません。</p> <p>また、ブライントングの水位低下が確認されていない系統について第23228報でお知らせした通り、16時08分に運転を再開しました。 これまで、陸側遮水壁設備の温度に有意な変動は確認されておりません。</p> <p>【公表区分：C統】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り・無し

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

17:45

41

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第23231報)

2022年 2月 15日 17時 40分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要)  第23226報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクFに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。  ・排水開始 : 12時00分 ・排水終了 : 16時30分 ・排水量 : 673m <sup>3</sup>  排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。  【公表区分: E】
その他の事項の対応(注3)	なし  ※添付の有り (無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。